

# 第9回 教育委員会会議録

令和元年7月31日

1. 開 会
2. 会議録署名委員の指名 ～ 瓜委員、高澤委員
3. 前回会議録の承認 ～ 承認
4. 報 告 報告第1号 教育長報告
5. その他
6. 出席教育委員 教 育 委 員 山 本 由美子 教 育 委 員 瓜 郁 夫 教 育 委 員 坪 谷 嗣 香 教 育 委 員 高 澤 司 教 育 長 多 田 豊
7. 傍聴人を除き他に議場に出席した者 学 校 教 育 課 長 大 橋 一 社 会 教 育 課 長 野 呂 道 洋 学 校 教 育 課 主 幹 斎 藤 政 弘 学 校 教 育 課 指 導 主 事 内 潟 昭 仁
8. 傍聴人 0人
会議時間：15時00分～16時35分

<p>教 育 長</p>	<p>開会挨拶</p> <p>会議録署名委員の指名 ～瓜委員、高澤委員 前回会議録 ～山本委員、坪谷委員 承認</p> <p>報告第1号 教育長報告について～教育長報告メモに基づき報告</p> <p>・中体連北空知大会が、7月2～3日で行われ、バスケット男子・バレーボール女子・ソフトテニス・野球部が出場した。結果として、全空知大会に出場したのはソフトテニスの男子団体と男女の個人で、全道大会へは進むことが出来なかった。</p> <p>・あかびら火まつりの市民踊りについて、教育委員の皆様にも参加をいただき感謝します。茂尻小PTAが優勝し、北部地区育成会赤間小学校が準優勝となりました。赤中は踊りの先生が来校されて練習も行ったようです。子どもたちが参加することにより、踊りも盛り上がるので、引き続き参加することを願います。</p> <p>・第2回定例会議会について、選挙後初めての定例会であることから、市長の所信表明と教育行政執行方針について、5会派から質疑が行われました。教育関係は22件ありましたので、主な質疑をご紹介します。新政クラブから、学校における働き方改革～実効性のある具体的な取り組みについて、答弁として、独自の業務改善計画を策定し対応しているとともに、業務の精選と意識改革、中学校の部活動指導の改善を行っていることと答弁をした。また、小中一貫教育の導入メリット・デメリットについての質問に、小中9年間の系統的教育課程を目指していくことと答弁した。民主クラブでは、この春に子ども達が交通安全や不審者による事故が発生した事から、登下校時の交通安全と不審者対策に質問があった。答弁は、学校が中心となり、安全協会交通指導等から教室を行っており、不審者情報についても、関係機関と連携を図り周知をしていくことと答弁しました。次に社会施設のパークゴルフ場移転先について、執行方針に記載があり、「移転ありき」政策決定手順違反と取られるとの指摘を受け、現パークゴルフ場は水害で冠水被害が多いことから、市民も協会も何とかしなければならないという認識はあったので、移転を含めて協議中であると答弁した。次に公明党で、通級指導教室の現状についての質問があった。発足時、利用者の増加、巡回指導を行っていることを答弁した。再質問の中で、中学校での指導教室の開設見通しの質問に、令和4年度開設に向けていくように答弁した。要件は13名で開設となるが、現在全体で35名の利用者がいるなかで、令和4年度には、13名が中学校に進級となるた</p>
--------------	---

	<p>め、このタイミングで開設に向けて取組んでいきたいと答弁した。日本共産党からは、炭鉱遺産の登録有形文化財の優遇措置や文化庁からの指導についての質問があり、登録申請の流れと登録に際しての意思決定については自治体判断であると答弁した。文化庁審議官が来赤時、相手方から可能性について言及、助言はあったことが、お墨付きはいただいていないと答弁した。一刻者倶楽部から個別学習の表現について、答弁として1対1ではなく少人数に対応する学習を行うための表現であることを申し上げた。学力学習プランについて、全国平均、或いは全道平均を目標に掲げているが達成出来ていないため、見直しについての質問に対し、全国平均に近づけるよう各学校も努力をしている。また、標準学力検査の継続、検証を行いながら進めている旨答弁した。実効性のある目標設定にしてとの趣旨からの質問でありました。また、公設塾について、もっと力を入れるべきであり、市で常勤塾講師を採用してはとのこと。答弁として、現行の公設塾の拡充を考えていると答えました。アンケートでは英語をやって欲しいとの声があり、来年拡充したい。</p> <p>以上報告を終わります。</p>
学校教育課長	<p>その他 令和元年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会の内容、出発時間を示した用紙をお配りしています。また、分散会での協議する事項について既に札幌の事務局に送付しております。添付されている調査票に基づき発表をよろしくお願い致します。</p>
教 育 長	<p>テーマは学校段階間の円滑な接続についてであり、小中一貫教育について、歌志内市教育長が現段階の進捗状況を事例発表として行います。それを受けての分散会となる。赤平市は、今後小学校建設に伴い、隣接地になることから一貫性をもたせていきたい。令和4年度を目指しております。歌志内は英語教育をメインにしているようです。管内の小中一貫は、三笠、沼田、雨竜で実践しております。幼から小・小から中への繋ぎの部分が大事になってきている。乗り入れ授業を実施しているところもある。小さい地域なら運動会の同時開催など、工夫の仕方で色々出来る。</p>
坪 谷 委 員	<p>幼稚園から小学校へ。小学校から中学校へ。または、1学年から2学年へなど、上級に上がった際に、情報、引継ぎが上手く伝わってないような気がします。繋ぎがスムーズにいければと思います。</p>
山 本 委 員	<p>担任の引継ぎも大事です。</p>
指 導 主 事	<p>小中一貫を導入した自治体でも、細かな部分が沢山ありスムーズにはないと話を聞きます。目指すものに対して、子ども達の実態を見ながら着実に高めていくため、今まで以上の努力が必要と感じます。授業の時間の</p>

	<p>縛りが増えているので、ゆとりが無く、時間が取れない状況が現状です。で、時間を増やす何らかの方法や、意識の改革がなされると課題も解決すると思ってます。</p>
学校教育課長	<p>学校訪問について、既にお知らせしておりますが、8月27日(火)赤平中学校、赤間小学校。28日(水)茂尻小学校、豊里小学校。29日(木)赤平幼稚園を予定してます。ご都合は大丈夫ですか。</p>
委 員	<p>大丈夫です。28日～高澤委員(直で茂尻に入る)</p>
学校教育課長	<p>給食費300円を持参ください。          次回の教育委員会の日程であります。記載のとおり8月29日(水)になりますが、赤平幼稚園訪問終了後より開催いたします。</p>
社会教育課長	<p>今月7日の人事異動で、社会福祉課長から社会教育課長に異動となりました、野呂と申します。教育委員会は、初めての勤務となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月30日(日)、市内小中学生を対象に、北海道日本ハムファイターズOBによります野球教室が、小学生38名、中学生13名の参加により、虹ヶ丘球場において開催されました。元プロ野球選手による直接指導を受ける貴重な体験をし、今後のトレーニングなどに活かされる事を願っております。</li> <li>・7月6日、土曜日になりますが、小学生11名、中学生3名の参加による、第2回ふるさと少年教室を開催し、新さっぽろにあるサンピアザ水族館を見学し、その後、平岡公園で昼食を取り、昼食後は、清田区にあるコカ・コーラ工場を見学し、参加した児童生徒にとっては、有意義な研修となったことと存じます。</li> <li>・7月14日、15日の両日に開催されました、赤平火まつりにおける、青少年センター、PTA、赤歌警察署少年補導員による合同補導を、補導員延べ63名が参加し、午後5時から午後9時半頃まで交代で行い、特に指導をするような事案はなく、無事終了したところです。</li> </ul> <p>最後になりますが、炭鉱遺産ガイダンス施設について、5月20日に、本邦国策を北海道に観よ！北の産業革命「炭鉄港」として、日本遺産に認定され、火まつり期間の両日、ガイダンス施設開館1周年事業として、市民対象無料開放デーを実施し、2日間で、入館者226名とガイド付見学者110名のご利用を頂いたところです。そのほか、「総合的な学習の時間」に、6月28日に、赤間小学校5年生が、7月17日には、赤間小学校3年生が、学習活動をされ、身近な赤平の文化遺産を肌で感じたことと存じます。以上で、報告とさせていただきます。</p>

指 導 主 事	<p>標準学力検査結果（NRT）報告書について説明します。学校名が入っていないものが赤平市全体のものであります。その他、1中学校と3小学校の学力の実態と改善に向けての報告書となりますが、各学校のアンダーアチーバーに着目しての推移が出来ていない。改善の部分で言えば、夏休み中に研修を行っているところもあり、まだ完成品ではありません。出来次第報告させていただきます。</p> <p>報告書については、過去を振り返りながら、どのように推移しているかが大事なところで、改善策がどのように活かされたか等を着目して、報告書を作成しました。赤平市全体の方をご覧ください。目次ですが、低学年から記載すべきですが、資料の多い順にしています。1P目、赤中3年生の小学校時代も振り返り、5段階分布で処理しています。どの教科を見ても2に傾いているというのが実態であります。指導の努力と子ども達の学習の努力により、3の方に、それを越して4の方に傾ければと思っています。小学校は特に5段階分布は、担任の特性が出るので、各学校、厳しい目で内容を紐解き指導に活かして欲しいです。領域別推移の部分で、全国正答率比で100が標準です。偏差値平均は50が全国の標準となります。50に近いものもありますが、遠いものもあります。力を高めて1段1段、上って欲しい。30Pですが、英語ですが、5段階分布で、1が半数を超しており、学校でも危機感を感じております。これは中1の1年間の成果が現われています。偏差値も34.7であり、学校でも高めていく努力をしております。次のページからは、各学校の偏差値平均推移を記載しております。赤平市は、NRTを導入してから4年間で日が浅く、4年間のデータを記載しました。今後、NRTの特性を踏まえて、有効に活用していきます。数学以外は中3までに右肩上がりになっています。4月の段階のデータですから、今後に期待しています。次、茂尻小学校ですが、算数がどの学年も伸びています。このまま伸びることを期待しています。国語は5年生が下がっています。学校からも話がありますので、挽回を期待しています。次、豊里小ですが、偏差値平均で40を下回る場所もあります。一般的に45以下が低いと言われ、結果に結び付いていない。一方50を越えているところもありますが、50を下回る場所が多いです。赤間小は児童数も多く、市全体の結果に影響します。6年生の4月段階で偏差値平均は50前後であり、平均的だが、他の学年を見ると努力が必要です。3年生は50を越えている。授業内容の難しくなり、持ち応えて欲しい。参考までに1枚物の資料で、黄色の部分の割合が減るようにしていかなければならない。各学校、アンダーアチーバーが減る努力をし、今後、この資料に基づき改善をしていきますし、学力が伸びるよう期待しているところ</p>
---------	--

	です。
教 育 長	この報告書で、それぞれの学年が経年的に状況把握できると思います。この数値で、対策対応と言った、理解、進め方の指針ができる事になります。
坪 谷 委 員	4年前からですか。その前は。
指 導 主 事	市全体として行ったのは、4年前です。学校によって、それ以前に行っているところもあるようですが、残念ながらデータは紙ベースであったため残っていない。4年前から CD 保存となった。教科別のアンダーアチーバーが各学校で見れるようになった。
瓜 委 員	対処法が明確になりますね。
教 育 長	学校だよりも掲載されておりますので、教員、保護者の目にも留まるので重視しなければならない。
山 本 委 員	課題が明確ですので、重きを置いて対処していただきたい。
教 育 長	自校の分析も出来る事から、全国学テと平行して、指導方法の改善に繋げて欲しいと思っています。
学校教育課長	次回の教育委員会の日程であります。8月29日（水）になりますが、幼稚園訪問終了後午前11時より開催いたします。
署名委員	
署名委員	
書 記 学校教育課 総務・学校教育担当主幹	